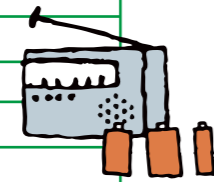


常時携行品・非常用持出品・備蓄品チェックリスト

●常時携行品

外出先で被災する場合もあるので、コンパクトで軽いものを常に身につけておきたいものです。

品名	メモ
<input type="checkbox"/> 笛・ホイッスル	閉じ込められたときなどに居場所を知らせる
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	
<input type="checkbox"/> 連絡メモ	自宅や勤務先、家族、親戚などの連絡先メモ
<input type="checkbox"/> 予備の電池	予備の電球、携帯電話の充電器、バッテリー
<input type="checkbox"/> 地図	避難場所や家族の集会所など。徒歩帰宅にも役立つ
<input type="checkbox"/> 水	
<input type="checkbox"/> 携帯食料	アメ・チョコレートなど
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	



●非常用持出品

避難するときにまず持ち出すものです。玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

品名	メモ
<input type="checkbox"/> 現金	公衆電話で使える10円硬貨は多めに
<input type="checkbox"/> 通帳(コピー)	預金通帳、健康保険証、運転免許証、カード類のコピー
<input type="checkbox"/> 印鑑	
<input type="checkbox"/> 予備のカギ	自宅や車など
<input type="checkbox"/> 非常用持出袋	リュックサックなど両手が使えるもの
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	一人にひとつ
<input type="checkbox"/> ヘルメット	
<input type="checkbox"/> 携帯電話	充電器、予備バッテリー
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	手動充電・携帯電話充電が可能なもの
<input type="checkbox"/> 乾電池	多めに用意
<input type="checkbox"/> 筆記用具	メモ帳、油性フェルトペンなど
<input type="checkbox"/> 飲料水	ペットボトル(500ミリリットル入り)を最低3本以上
<input type="checkbox"/> 非常食	乾パンや缶詰、栄養補助食品などを最低3日以上
<input type="checkbox"/> 救急用品セット	絆創膏、消毒液、胃腸薬、ガーゼ、包帯、便秘薬など
<input type="checkbox"/> 持病薬	処方箋の控えも
<input type="checkbox"/> マスク	ほこり・感染症対策
<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	避難所ではトイレ不足も
<input type="checkbox"/> 手袋	厚手のもの
<input type="checkbox"/> タオル	
<input type="checkbox"/> 毛布	
<input type="checkbox"/> ナイフ	
<input type="checkbox"/> ライター	マッチ、ろうそく
<input type="checkbox"/> 雨具	
<input type="checkbox"/> 携帯用カイロ	
<input type="checkbox"/> 下着、靴下	
<input type="checkbox"/> 長袖、長ズボン	
<input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット	セーターなどの防寒具も寒い季節には役立つ



●備蓄品

災害復旧までの1週間程度を自足できるように準備しておくものです。災害後に取りに行けるよう、倉庫や車のトランクなどに分けて備蓄しておくとう便利です。

品名	メモ
<input type="checkbox"/> レトルト食品	ごはん、おかゆ、アルファ化米、インスタントラーメン、カップみそ汁など
<input type="checkbox"/> 水	1日3リットルが目安。1週間分以上
<input type="checkbox"/> 給水用ポリタンク	日頃から水道水をためておくとう災害時に生活用水に使える
<input type="checkbox"/> カセットコンロ	
<input type="checkbox"/> ロープ、工具セット	救助活動の際に使える
<input type="checkbox"/> 皿、コップ、箸	
<input type="checkbox"/> ラップフィルム	食器の上に敷けば洗う必要がなく便利
<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー	
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	入浴できない時に体が拭けるなど便利
<input type="checkbox"/> 水のいらないシャンプー	
<input type="checkbox"/> ビニール袋	雨具や敷物、簡易トイレとしても使用可能。
<input type="checkbox"/> 長靴	がれきなどから足を保護するため
<input type="checkbox"/> ぼうき、ちりとり	ガラスや倒壊物の除去に役立つ
<input type="checkbox"/> ランタン	

●女性

●妊婦

●アレルギー

●乳幼児

品名
<input type="checkbox"/> 生理用品
<input type="checkbox"/> 化粧品
<input type="checkbox"/> 防犯ブザー
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 生理用品
<input type="checkbox"/> ガーゼ・さらし
<input type="checkbox"/> 新生児用品
<input type="checkbox"/> 母子手帳
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> アレルギー対応の非常食
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 粉ミルク
<input type="checkbox"/> ほ乳瓶、消毒セット
<input type="checkbox"/> 離乳食、スプーン
<input type="checkbox"/> 紙おむつ
<input type="checkbox"/> おしりふき
<input type="checkbox"/> おもちゃ
<input type="checkbox"/> 母子手帳
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

●高齢者・要介護者

●ペット

品名
<input type="checkbox"/> 軟らかい非常食
<input type="checkbox"/> 予備のメガネ
<input type="checkbox"/> 入れ歯、洗浄剤
<input type="checkbox"/> 補聴器、予備電池
<input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ
<input type="checkbox"/> 補助具の予備
<input type="checkbox"/> 常備薬
<input type="checkbox"/> 障害者手帳
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ペットフード
<input type="checkbox"/> ペット用トイレ
<input type="checkbox"/> ペット用食器
<input type="checkbox"/> リード
<input type="checkbox"/> 飼い主の連絡先
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>



災害に強い奈良県へ

皆さんが安全に安心して暮らせる、災害に強い地域社会を実現するため、「奈良県地域防災活動推進条例」を制定しました。(平成26年4月1日施行)
この条例によって、地域の皆さんによる防災活動を推進し、地域の防災力の向上を図ります。

災害の種類ごとに、3つの「奈良県防災の日・防災週間」を制定しました

防災に関する理解を深め、地域の防災活動の一層の推進を図るため、制定しました。皆さんも関連行事に参加して、防災について考えるきっかけとしてください。

7/9 奈良県地震防災の日

8/1~3 奈良県水害防災の日

9/3~4 奈良県土砂災害防災の日

それぞれの「奈良県防災の日」を含む前後一定の期間を「奈良県防災週間」とします。

奈良県を襲った過去の災害

【地震】伊賀上野地震
1854(嘉永7)年7月9日

嘉永七年六月大地震瓦版
木津川断層帯の活動によると考えられる大地震。
二次災害としてため池の堤防の決壊により土石流が発生し、古市町(現奈良市)で約150人が死亡したとされています。
■県内の死者 280人(諸説あり)
■県内の全壊家屋 約700~800戸

【水害】大和川大水害
1982(昭和57)年7月31日~8月3日

台風第10号とそれに続く低気圧の影響で、数十年に一度の豪雨が3日間で2回も降りました。
相次ぐ豪雨による土砂崩れや吉野川で濁流にのみ込まれるなどして犠牲者がでました。また、王寺町や田原本町などでは広範囲で浸水被害が発生しました。
■県内の死者・行方不明者 16人
■県内の建物被害 1万3,530棟

【土砂災害】紀伊半島大水害
2011(平成23)年8月30日~9月4日

大型で動きの遅い台風第12号の影響で、県南部を中心に記録的な大雨が降り、大規模な土砂災害や河道閉塞が多数発生しました。これにより、多くの犠牲者がでるとともに、家屋が流されたり、浸水したりする被害も発生しました。
■県内の死者・行方不明者 24人
■県内の建物被害 184棟
■避難者数(被災直後) 938人

写真は、「歴史から学ぶ 奈良の災害史」より抜粋



奈良県地域防災活動推進条例の基本的考え方

これまで奈良県は災害が比較的少ない地域だといわれてきましたが、平成23年9月には紀伊半島大水害が発生し、県内に死者14名、行方不明者10名という甚大な被害を引き起こしました。また、国が発表した南海トラフ巨大地震による被害想定では、県内で最大約1,700人の死者が発生するなど、大きな被害が予想されています。

災害の発生を完全に防ぐことは不可能ですが、災害に対する日頃の備えや避難の徹底などを図ることにより、被害を減らすことは可能です。

より一層被害を減少させるためには、公助（県、市町村及び防災関係機関が県民の皆さんの生命、身体及び財産を保護する取り組み）によるだけでなく、自助（県民の皆さんが自らの身は自ら守る取り組み）を実践し、共助（地域において互いに助け合って地域の安全を確保する取り組み）に努めることが必要かつ不可欠です。そして、これら自助、共助及び公助が一体となって、相互に連携して、防災対策に取り組むことが重要です。

条例の基本理念

自分の命は自分で守る

自分たちのまちは自分たちで守る

じ じょ
自助

県民の皆さん

きょうじょ
共助

自主防災組織・事業者

自助・共助・公助が一体となって
地域防災力の向上

こうじょ
公助

県や市町村など

県や市町村などの
取り組みで住民を守る

県民の皆さん、自主防災組織及び事業者による地域における防災活動を推進することにより、地域における防災力の向上を図り、県民が安全に安心して暮らせる災害に強い地域社会を実現するため、この条例を平成26年4月1日に施行しました。

きょうじょ
共助

自主防災組織は、「自分たちの家族やまちは自分たちで守る」という意識のもと、住民同士が協力して自発的につくるものです。

あなたのまちでも自主防災組織を結成し、災害に備えましょう。

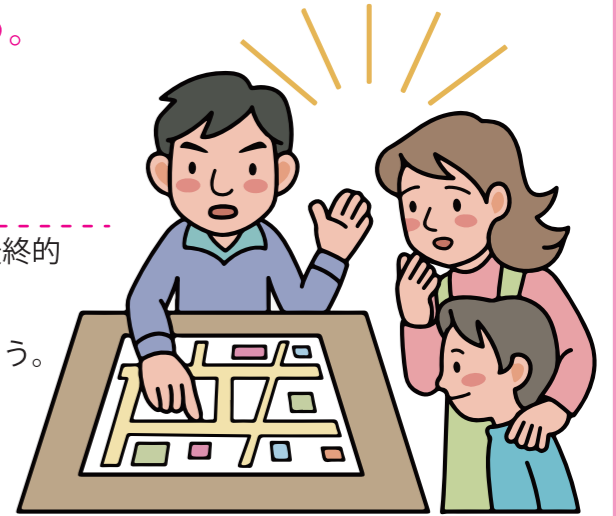
すすんで参加しましょう！

災害時には、日頃やりなれていることも満足にできない、日頃やっていないことは絶対にできない、と言われてています。積極的に地域の防災訓練などに参加しましょう。



じ じょ
自助

災害発生時、家族が慌てず行動できるよう、普段から次のようなことを話し合っておきましょう。



避難の時の「場所」「方法」「ルート」は？

- 家族が離ればなれになってしまった時の集合場所や、最終的な避難場所を確認しておきましょう。
- 避難場所までの安全な避難方法やルートを確認しましょう。
- できれば家族で実際に下見をしてみましょう。

勤め先や外出中の家族の安否確認は？

- 勤め先や学校、親類等の連絡先を記入し、家の中の見やすい場所に貼っておきましょう。
- 外出先で災害が発生した場合の安否の確認方法や集合場所について、事前に決めておきましょう。

避難カード

家族で情報を確認・共有しておきましょう。

緊急 連絡先	連絡先	電話番号	連絡先	電話番号	
家族 データ	氏名	電話（連絡先・学校）	血液型	アレルギー	備考（常備薬など）
親戚・ 知人 連絡先	氏名	電話番号	住所	備考（家族との関係など）	
集合場所	場所	住所	備考（連絡先、避難経路など）		
避難場所	場所	住所	備考（連絡先、避難経路など）		

災害用伝言ダイヤル（171）を活用しましょう！

被災地
△△小学校に避難しているよ。

ママ、今△△小学校に避難しています。〇〇くんの無事も確認できました！

171にダイヤル

▼ガイダンスが流れます▼

録音は **1** 再生は **2**

▼ガイダンスが流れます▼

被災地の方の電話番号を市外局番から入力

無事が確認できて安心したわ。

遠方の家族など

みんな無事だね！これから△△小学校に向かいます！

携帯電話やパソコンからインターネットに接続し、災害用伝言板などを利用する方法もあります。

- 携帯電話から
各社のトップメニューで「災害用伝言板」を選択
- パソコン・スマートフォンから
災害用伝言板「web171」
HP <https://www.web171.jp>
体験期間 1/1~1/3、毎月1日と15日、8/30~9/5